

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域ぐるみで取り組む賢い患者になるための「患者学」
事業主体 (連絡先)	学校法人佐久学園 佐久大学 長野県佐久市岩村田 2384
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,156,759 円 (うち支援金 : 2,349,000 円)

事業内容

佐久地域がさらに健康寿命を延ばすために、住民が主体的に健康を意識していけるような事業を展開する。

「患者学」をテーマとし、今年度は「予防」をキーワードとして以下の事業を実施した。

- ・市民向け公開講座の実施：全2回
- ・こすもすサロンの開設及びミニ公開講座の実施：全8回
- ・「健康生活の知恵 ハンドブック」の制作・配布：佐久広域に全戸配布
- ・「患者学」ホームページの開設



【公開講座の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①公開講座・ミニ公開講座合わせて延べ335名の参加があった。テーマによって参加者数のばらつきが見受けられたが、全ての回において概ね良い評価が得られた。
- ②こすもすサロンの折込チラシを増やすなど広報を強化したことで、様々なテーマに参加があった。テーマに合わせて年齢層が変わるため、幅広い世代に対して周知ができていることが確認できた。
- ③ハンドブックを全戸配布したことで、自ら参加する人だけでなく、全世代に対して積極的に患者学を広めることが出来た。

【目標・ねらい】

- ① 公開講座・ミニ講座参加者数の増加
- ② こすもすサロンの周知
- ③ 佐久地域に「佐久大学患者学」をより広める

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

1年目及び2年目の活動によって、「患者学」をキーワードとして本学の事業を多くの人に知ってもらうことができ、外部からも関連する問い合わせが多く来るようになった。今後も公開講座とこすもすサロンを中心として、多数の人が関心を持ってもらえるような取組みと、そこから派生するテーマを軸に、発信する情報を増やし、本学ならではの事業を展開していく。

※自己評価【B】

- 【理由】
- ・公開講座及びミニ公開講座参加者が目標よりやや多かった。
 - ・ハンドブックとHP制作など予定通りの事業を行うことが出来た。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある